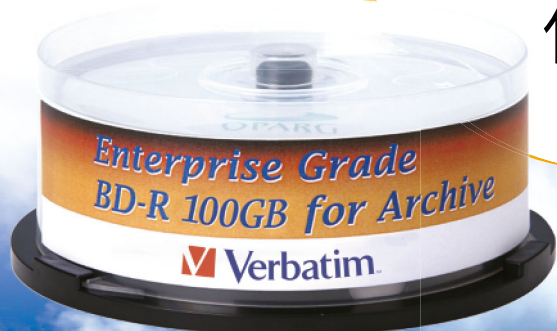


沖縄県公文書館様で アーカイブ用光ディスク採用

～公的機関でも使用される信頼と実績～
JIS X6257, JIS Z6017 完全準拠

100年以上^{※1}
データを
保存



ブルーレイに記録することで
長期間安心して保存することができます



※2



沖縄県公文書館様では、歴史資料として重要な公文書などの記録を収集・整理・保存すると共にこれらの利用を図り、文化や学術の振興に寄与されています。

資料のデジタル化

沖縄県公文書館様では、原本の保存と並行して、資料のデジタル化も推進しています。まず最初にスキャナーもしくはデジタル一眼レフなどで撮影された TIFF データを館内のサーバーに一時的に保存します。その後 TIFF データを**長期保存**するために、**推定寿命 100 年のアーカイブ用光ディスク**※1 を正、LTO を副として、それぞれの媒体にデータをアーカイブします。アーカイブ用光ディスクに記録した後、エラーレートの検査を行います。この検査は JIS X6257 / Z6017 の規格に基づいて行われますので、検査に合格したディスクは長期保存性能が担保されています。尚、媒体への記録と検査が完了した時点で、サーバーの使用容量を節約するために、サーバーから TIFF データを削除しています。また光ディスクのレーベル面にはバーコードを印刷して、後々の管理を容易にする工夫がなされています。



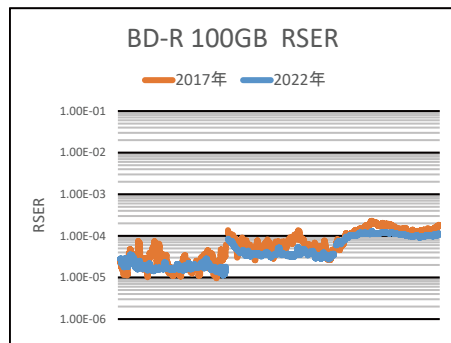
原本とデジタルデータの長期保存

原本の資料だけでなく、データを保存した媒体も 24 時間空調管理された書庫に保存されています。保存環境を維持するために、書庫の温湿度管理や清掃、害虫モニタリング等を行っています。アーカイブ用光ディスクに限れば、通常の居室環境下での保存で問題はなく、**特別な空調を必要としません**。また JIS X6257 / Z6017 の規格で、5 年を目処に定期検査をすることになっていますが、パイオニア製アーカイブ用ドライブと Verbatim Japan 製のアーカイブ用ディスクの組み合わせで作成されたディスクであれば、**抜き取り検査**での判定が可能となっています。定期検査で問題ない事が確認されたディスクはそのまま保存を継続できますが、万が一『即座に対応が必要』と判定されたディスクはマイグレーション（新たなディスクへ再記録）することで元の良好な状態に戻すことができます。このように光ディスクには、状態を定期的に検査することで、**読めなくなる前に対策を講じる仕組みがあります**ので、デジタル資料の喪失の危険性は非常に少ないものとなっています。また記録済みのアーカイブ用光ディスクは、市販されている BD ドライブで読み込み可能ですので、再生環境の心配もありません。



定期検査の実例

2017 年に記録したディスクを、5 年後の 2022 年に定期検査をしました。その時の結果をグラフに示します（BD-R 100GB 1 枚の結果をグラフ化しています）。RSER は、ディスクの経時変化を知るための指標の一つで、パイオニア製検査用ドライブで検査することができます。この結果のように、2017 年と 5 年後の 2022 年で、ほとんど変化が無いことが分かります。このようにアーカイブ用ディスクは、**経時変化が少なく**、安心して長期保存ができます。



沖縄県公文書館様
でのご使用環境

記録ドライブ 型式：BDX-PR1MA-U（パイオニア製ドライブ搭載）
検査ドライブ 型式：BDX-PR1MC-U（パイオニア製ドライブ搭載）
アーカイブ用 BD-R ディスク 100GB 型式：ASBF25RTJH（Verbatim Japan 製）

※1 ISO/IEC16963 に準拠した寿命推定方法にて、オフィス環境（30℃/80%RH）での保管で 100 年以上の推定寿命を持つ。

※2 古文書の画像は沖縄県公文書館様の承諾を得て転載しています。引用：沖縄県公文書館様ウェブサイト www.archives.pref.okinawa.jp/

製品に関するお問い合わせ

バーベbatim ジャパン
Verbatim Japan株式会社
www.verbatim.jp/pro_top.html
E-mail: info@verbatim.jp



販売代理店

SHINCOH

シンコー株式会社 O A 事業部

福岡県福岡市中央区渡辺通り5-14-12
南天神ビル
TEL 092-713-6641 FAX 092-713-6644
Web <https://shincoh.co.jp/pages/57>
E-mail oa@shincoh.co.jp

